

あ・と・が・き

日高事業所では夏時間の有効活用として、7~8月の2ヵ月間、調教場の開場時間を1時間早めるサマータイムを導入しました。初日から活発に利用され、利用者の方々にはたいへん好評でした。

研修生(第23期生)は6月下旬から調教場内の馬場でも騎乗を開始し、広大な充実した環境の下で訓練できることの素晴らしさに感動しています。また、牧場施設の見学や牧場実習等の課外研修も始まり、日常の実技・学科だけでは得られない貴重な体験をとおり、幅広く知識を深めているところです。さらに9月からは若馬の初期馴致実習も始まり、新たな技術の習得に取り組んでいます。

生産地の育成業務に携わる人達を対象に、日高において平成13年から毎年実施しています短期育成調教技術講習会を8月に4週間にわたり実施しました。5名の講習生は早朝の厩舎作業から騎乗訓練・学科講習等について幅広く技術と知識を吸収し、レベルアップを十分に確信したと思います。(Y.H.)

「たづな」欄は騎手やきゅう務員の養成を行なっているJRA競馬学校の和田雅雄校長に寄稿していただきました。一流のホースマンになるためには先輩諸氏の指導も大切な要素ですが、本人の強い意欲と弛みない努力がすべてです。頑張ろう！ホースマンの卵諸君！

「サイエンティストからの提言」欄は競走馬のスポーツ科学の研究に長年携わってこられたJRA総研の久保勝義氏からの提言です。制限あるページ数にまとめていただきましたので、質問のある方は筆者にお尋ねいただければ喜んでお答えいただけるものと思います。

「やさしい育成技術」欄は文字通り育成・調教の土台となる馬場の管理(特に冬期の管理)について当センターを例に取り上げました。調教を支える馬場、馬場を支える人、その工夫と苦勞、全国の育成牧場の皆さんの参考になれば幸いです。

「研修生のページ」欄は今年4月に入講した第23期生の初心や感想です。今回は数名の研修生に担当してもらいましたが、卒業するまでには全員に寄稿してもらう予定です。次号をお楽しみに。(H.H.)